

令和7年(2025年) 9月17日

保護者の皆様

札幌市立東光小学校
校長 川見 明子

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

清秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、御理解と御支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、4月に児童の学力・学習状況の把握分析を目的として6年生で実施した「全国学力・学習状況調査」の結果及び分析について御報告します。また、「児童質問紙」（生活習慣や学習環境に関する調査）の結果及び分析についても御報告します。

本校の概要、課題と改善方法について

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【令領域】 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均を下回っている。 「我が国の言語文化に関する事項」 ・全国平均を下回っている。 「話すこと・聞くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「書くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「読むこと」 ・全国平均とほぼ同程度である。	●漢字を文の中で正しく使うこと ●情報と情報の関係付けの仕方を理解し、使うこと ●資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること ●人物像を具体的に想像すること	●日常的に漢字を文章の中で正しく使うようにする習慣を身に付けていく。 ●目的や意図を明確にし、聞き手にどう提示すると効果的かを考え、表現に生かすことができる授業の推進を図る。 ●根拠となる言葉や文に着目しながら想像できるようにする授業の手立てを改善し、目的意識を高める。 ●登場人物の相互関係について、描写をもとに捉える言語活動を工夫する。

【算数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【令領域】 「数と計算」 ・全国平均を上回っている。 「図形」	●用具を適切に用いて図形を作図すること。	●ICT等を効果的に取り入れ、図に整理したり、具体物を操作したりして数量の関係を捉えながら式に表す活動の充実を図る。

・全国平均とほぼ同程度である。 「測定」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「変化と関係」 ・全国平均を上回っている。 「データの活用」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●問題を解決するために必要な数量を用いて求め方を式や言葉で記述すること ●目的に応じて適切なグラフを選択・判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること	●日常生活の問題を解決するために、数量の関係を捉えて図式化したり、言語化したりする課題探究的な学習の充実を図る。 ●表やグラフから目的に応じた数量を読み取ることができるようにする学習活動の充実を図る。
--	---	---

【理科】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【令領域】 「エネルギー」を柱とする領域 ・全国平均を下回っている。 「粒子」を柱とする領域 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「生命」を柱とする領域 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「地球」を柱とする領域 ・全国平均を下回っている。	●磁石や電流に関する知識が身に付いていること ●水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解すること ●結果を基に結論を導いた理由を表現すること	●驚きや喜び、期待や葛藤などの気持ちが追究の原動力となる実験や体験活動を工夫する。 ●観察や実験の過程を大切にし、仲間とともに自ら問題に働きかけ、その規則性や妥当性を明らかにする学習課題や活動を工夫する。 ●実験の過程を観察、記録し事象の関係を、根拠をもって言語化する学習活動を取り入れる。

本校児童の質問紙調査の結果について

本校6年生児童の調査結果の中で、特に『○よかったところ（全国平均よりも高かった項目）』と、『●今後の課題（平均よりも低かった項目）』をお伝えします。

結果

全国結果と比較して、顕著なものを中心に

- 自分にはよいところがある。
- 人が困っているときに進んで助けている。
- 先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- 自分の考えと違う意見について考えるのは楽しい。
- 1日当たりの学習時間。

分析

今回の結果から、全国の結果と比較して以下のような傾向にあると言えます。

- 前向きに挑戦しようとする心や自己有用感が高まっている。
- 周りの役に立ちたいという他者を思いやる気持ちを大切にしている。
- 子どもたちの多様な考えが、授業の中で生かし切れていない。
- 個々の家での勉強の時間や読書する時間には、ばらつきが見られる。